

京都府小児アレルギー疾患連携セミナーの開催結果について

1. 概要

開催日時：令和8年2月22日（日）14：00~15：35

開催方法：オンライン形式（Zoom）

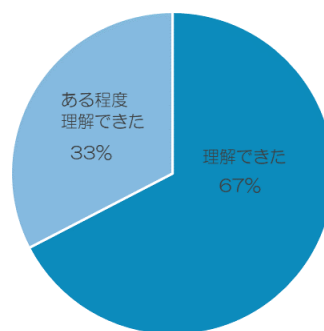
参加者：63名

（医師54名、看護師4名、薬剤師1名、保健師3名、栄養教諭1名）

2. アンケート回答結果（回答46名／回収率73%）

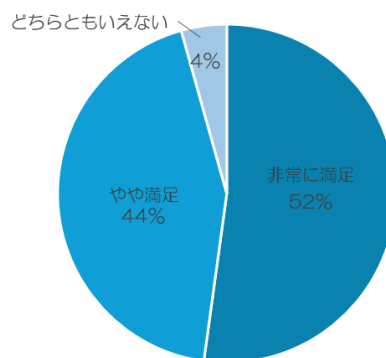
（1）理解度

- ・理解できた 31名
- ・ある程度理解できた 15名



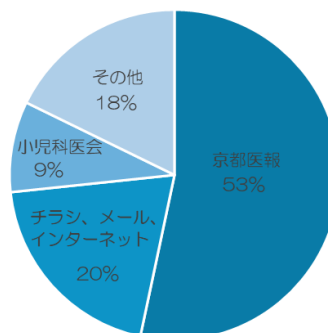
（2）満足度

- ・非常に満足 24名
- ・やや満足 20名
- ・どちらともいえない 2名



（3）本セミナーを知ったきっかけ

- ・京都医報 24名
- ・チラシ、メール、インターネット 9名
- ・小児科医会 4名
- ・その他 8名



3. 参加者のコメント（抜粋）

- 皮膚に関する解剖から外用薬の使用方法、多職種連携まで幅広く学ぶことができました。（保健師）
- アトピー性皮膚炎患者への対応方法、多職種連携の必要性、皮膚ケアなど興味深い内容でした。（看護師）
- アレルギーシーズン到来前に、是非毎年聞きたい。（医師）

4. 今後取り上げてほしいテーマ

<食物アレルギー>

- 食物アレルギーの正しい理解について
- 食物アレルギーにおける京都での連携について
- 食物蛋白誘発胃腸炎(FPIES)について

<アトピー性皮膚炎>

- アトピー性皮膚炎の治療最前線について

<気管支喘息>

- 小児気管支喘息について
- 喘息診療におけるチーム医療について

<学校現場等における対応>

- 小児アナフィラキシーに対応する教師・保健室の先生や救急隊員の話
- 学校、幼稚園、保健所の関係者も含めた連携について
- 学校でのアナフィラキシーの対応について
- 現場での苦勞や解決策などの経験談について
(講演及びパネルディスカッション)

<その他>

- インバウンドの花粉症について